



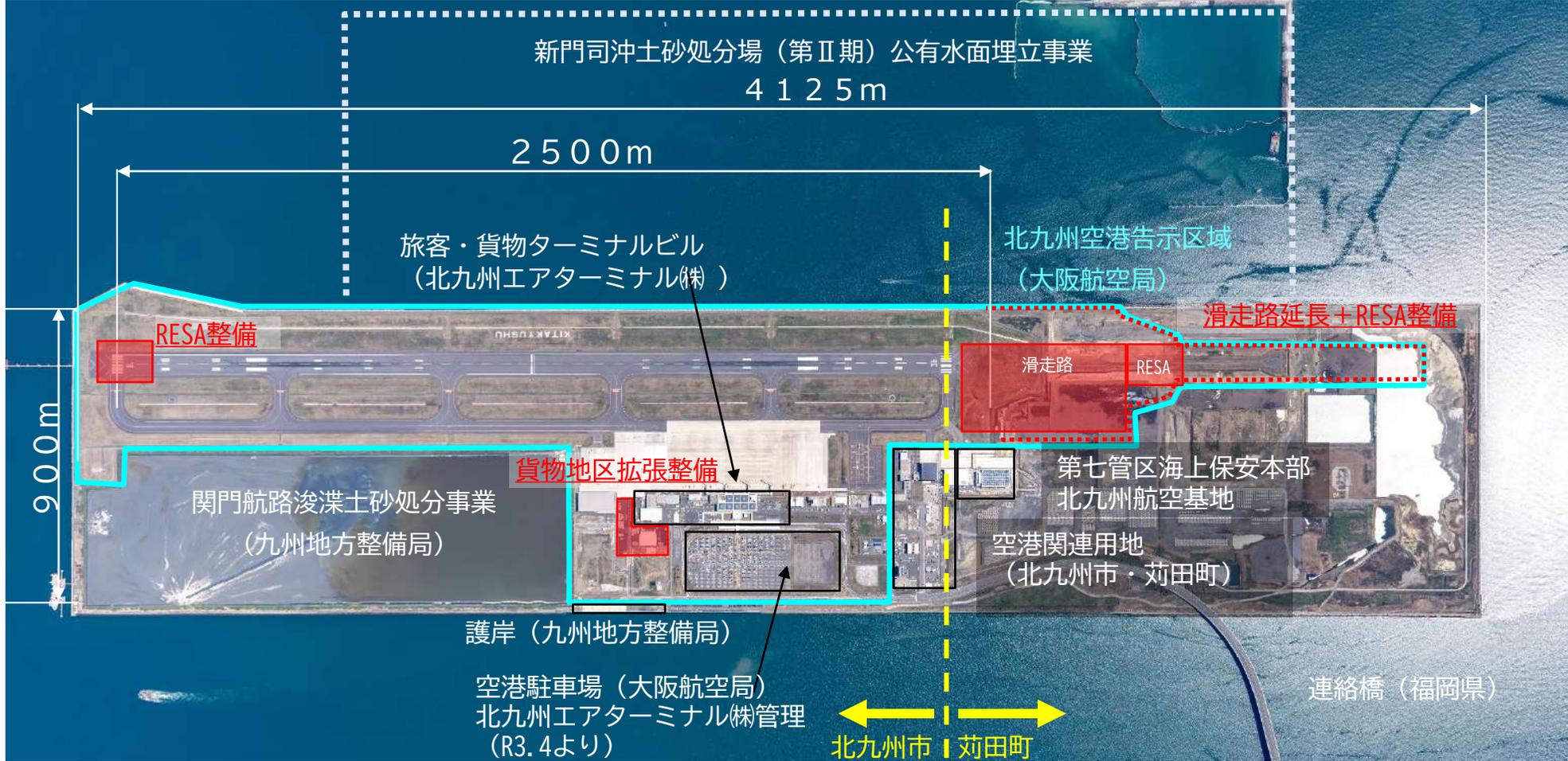
舞台は未来、
北九州空港からつなぐ。
スカイコネクトKKJ

北九州空港の物流拠点化について ～地域に貢献する空港であるために～

2025年1月27日
北九州市港空港企画課

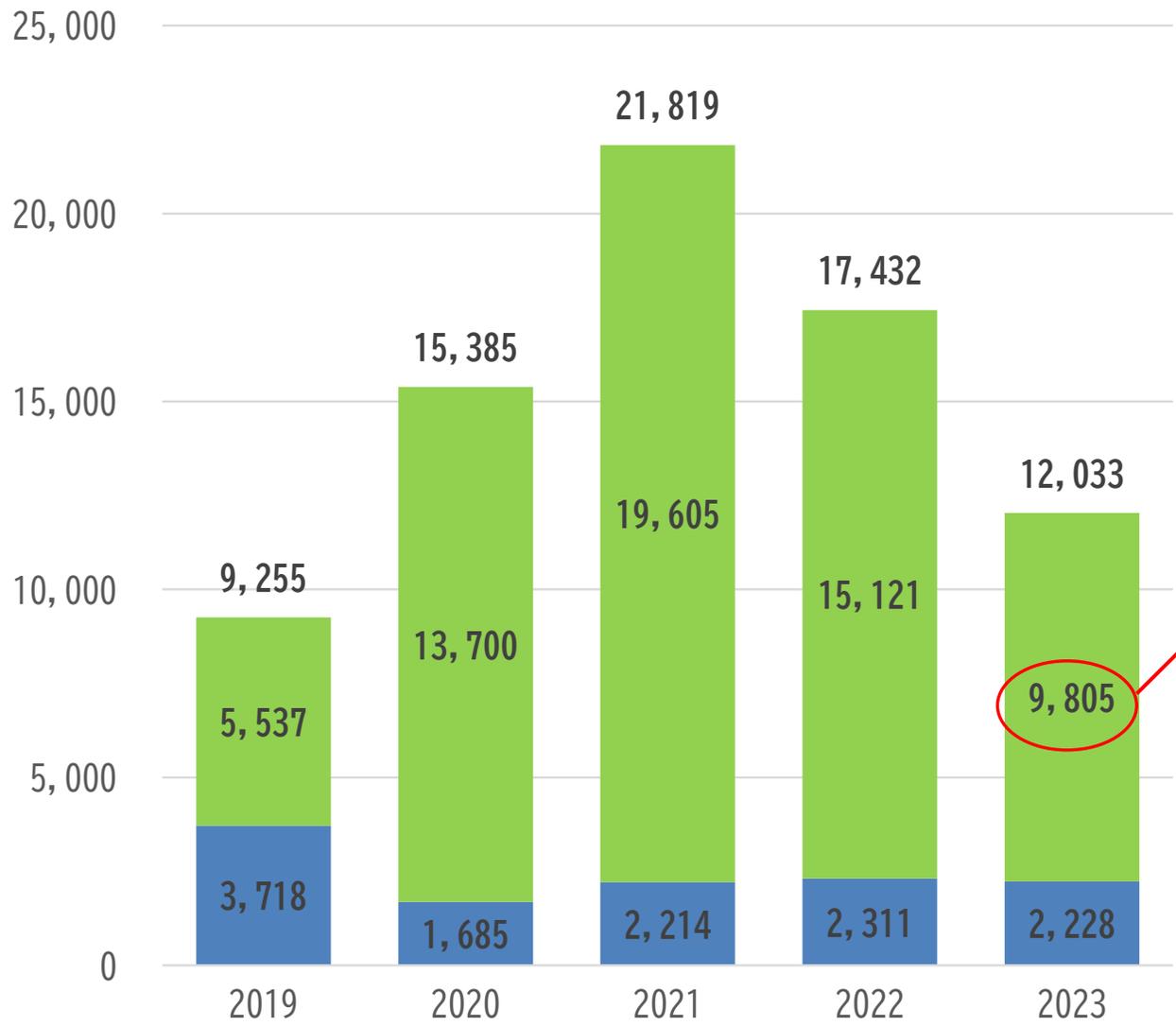
北九州空港島の現況

所在地	北九州市小倉南区空港北町	滑走路	(L) 2,500m × (W) 60m × 1本
種別	拠点空港 (国管理空港)	駐機場	大型: 2、中型: 3、小型: 4、貨物専用: 1スポット
設置管理者	国土交通大臣		
供用開始日	2006年3月16日	旅客ターミナル	延床面積: 15,430㎡ 搭乗橋: 4本
運用時間	24時間	貨物ターミナル	延床面積: 4,739㎡
告示区域面積	約184ha (空港島約373ha)	駐車場	普通車: 1,780台、大型車: 4台 身障者用: 20台、自動二輪車: 30台



北九州空港の貨物取扱量

(単位：トン)



■ 国内 ■ 国際

※年度(4月～3月)集計

◆国際航空貨物取扱量順位 (速報値)

順位	空港名	取扱量
1位	成田空港	1,846.3千トン
2位	関西空港	656.4千トン
3位	羽田空港	623.7千トン
4位	中部空港	119.3千トン
5位	福岡空港	29.6千トン
6位	北九州空港	9.8千トン
7位	新千歳空港	6.9千トン
8位	小松空港	4.6千トン
9位	那覇空港	2.1千トン
10位	鹿児島空港	0.3千トン

国際貨物取扱量

地方空港
第1位

北九州空港の国際貨物便の展開

九州・中国地方唯一の貨物定期便 グローバルネットワークへの接続

大韓航空 週3便 水・木・土

UPS 週5便 (月・火・水・木・金)

	ロサンゼルス	北九州	仁川	39か国 110都市 へ就航
水	(11:35発)	(16:20着 18:20発)	(19:50着)	
木	(10:10発)	(15:10着 17:10発)	(18:40着)	
土	仁川(14:45発)	北九州(16:20着 19:20発)	仁川(20:50着)	

深圳	関西国際	北九州 (10:35着 20:20発)	関西国際	深圳	世界200以上の 国・地域へ就航
----	------	------------------------	------	----	---------------------



大型

中型

これまでのシーアンドエア輸送実績

年度	発着地	輸出入	備考
2013	北米	輸入	人工衛星 (種子島)
2018	米国	輸出入	大型無人航空機 (長崎壱岐市)
2021	仏国	輸入	人工衛星 (種子島)

【輸入の事例】



北九州空港の国内貨物便の展開

■北九州空港を九州の航空輸送拠点として活用

ヤマトグループとJALグループが、持続可能な物流ネットワークの構築に向けて、長距離幹線輸送に貨物専用機を使用し、安定的な輸送力の確保やスピード輸送による付加価値を提供。九州の拠点である北九州空港と東京、北海道、沖縄とを結ぶ直行便が就航。

小型



エアバスA321-200P2F

提供：ヤマトホールディングス(株)

■運航概要

- 運航便数：1日あたり4往復・8便
※最終的に1日5往復・10便予定
- 運航ダイヤ：赤字は2024.10.27～の増便分

便名	ルート	
IJ444	北九州 (01:40発)	羽田 (03:15着)
IJ445	羽田 (04:55発)	北九州 (06:50着)
IJ422	北九州 (08:05発)	成田 (09:55着)
IJ421	成田 (11:40発)	北九州 (13:35着)
IJ464	北九州 (15:20発)	新千歳 (17:30着)
IJ456	那覇 (15:45発)	北九州 (17:30着)
IJ426	北九州 (19:20発)	成田 (20:50着)
IJ425	成田 (22:30発)	北九州 (00:25着)

- 首都圏につながる多頻度運航
- 国際貨物の搭載も可能で、拠点空港から他の航空会社への接続も可能



貨物輸送を支えるインフラ



【貨物機用エプロン】

- ・大型貨物機が駐機できるエプロン（駐機場）を2か所設置、**大型機同時駐機可能**
- ・小型貨物機が駐機できるエプロンを1か所新設（2024.4供用）

【直立護岸】

- ・空港島内に直立護岸あり
- ・直立護岸とスポットが直線道路でつながる
航空と海上を組み合わせた
”シー・アンド・エア”輸送が可能

【国際貨物上屋】

- ・国際貨物を取り扱う上屋（20FTサイズのリーファーコンテナあり）を2つ整備
- ・エプロンとの距離が非常に近く、
”コンパクトさ”が荷主企業から高評価
（貨物ダメージ発生可能性の低減）

【国内貨物上屋】

- ・国内第二貨物上屋を新設（2024.3供用）
- ・国内貨物テント上屋を新設（2024.6供用）
- ・国内貨物定期便に対応

九州・西中国地方における貨物便の重要性

重要性が拡大する航空輸送

- ✓ 自動車のEV化・自動運転の高度化
⇒ 自動車、電子部品、半製品等の輸送拡大 >>>
- ✓ 半導体を多用する産業構造への転換
⇒ 半導体、半導体製造装置の輸送拡大 >>>>>
- ✓ 越境ECの拡大
⇒ 小口・多頻度輸送ニーズの拡大
- ✓ 農林水産物・食品の輸出拡大（2030年輸出額5兆円目標）
⇒ スピード輸送、コールドチェーンへの対応

九州は、半導体関連、自動車関連の産業が盛んで、今後大きな成長が見込まれる地域



**九州地域での
大型貨物専用機の重要性**

物流業界を取り巻く課題・環境変化

- ✓ 長時間労働
- ✓ 労働力不足
- ✓ 働き方改革 >>>>>
- ✓ 脱炭素化
- ✓ SDGsへの対応 など

「物流の2024年問題」は
喫緊の課題

働き方改革関連法により、2024年4月からトラックドライバーの1日の労働時間が短くなり、走行可能距離が2割減少する（長距離輸送においてはこれまで以上にドライバーの確保が必要になる）

◆不足する輸送能力（地域別）2019年度データ

北海道	11.4%	近畿	12.1%
東北	9.2%	中国	20.0%
関東	15.6%	四国	9.2%
北陸信越	10.8%	九州	19.1%
中部	13.7%		

出典：「物流の2024年問題の影響について(2)」2022年11月11日NX総研

北九州空港が目指す姿

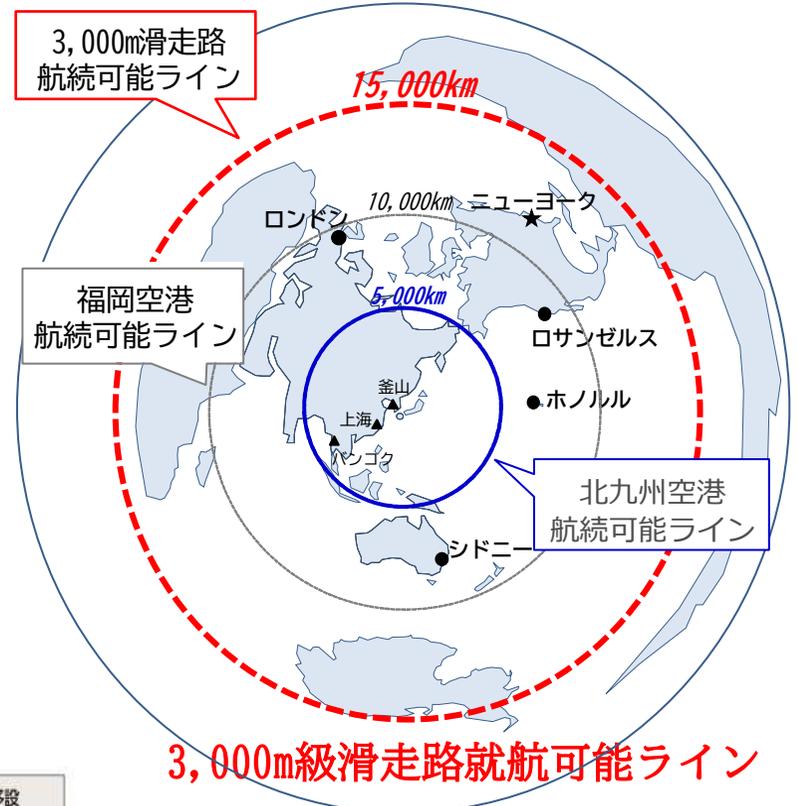
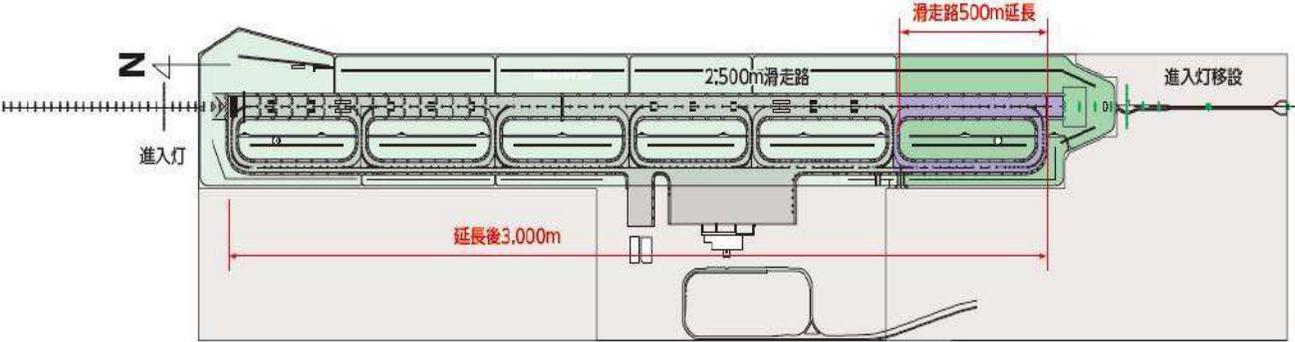
貨物便の国際ネットワークの拡充
地域の産業を支える物流拠点空港

滑走路3,000m化に向けた取組み

- ・北九州空港を「九州・西中国の物流拠点空港」へ発展させていくためには、大型貨物機の長距離運航を可能とする滑走路の延長が必要。
- ・2020年度より国による調査が開始され、2023年3月に新規事業化が決定、2027年8月31日には供用開始予定。

【滑走路延長の効果】

- (貨物)
- 北米・欧州への貨物直行便の就航が可能となる
 - 大型重量物の輸送（特に輸出）の誘致を拡大できる
- (旅客)
- 北米・欧州などへの長距離旅客便の就航が可能となる

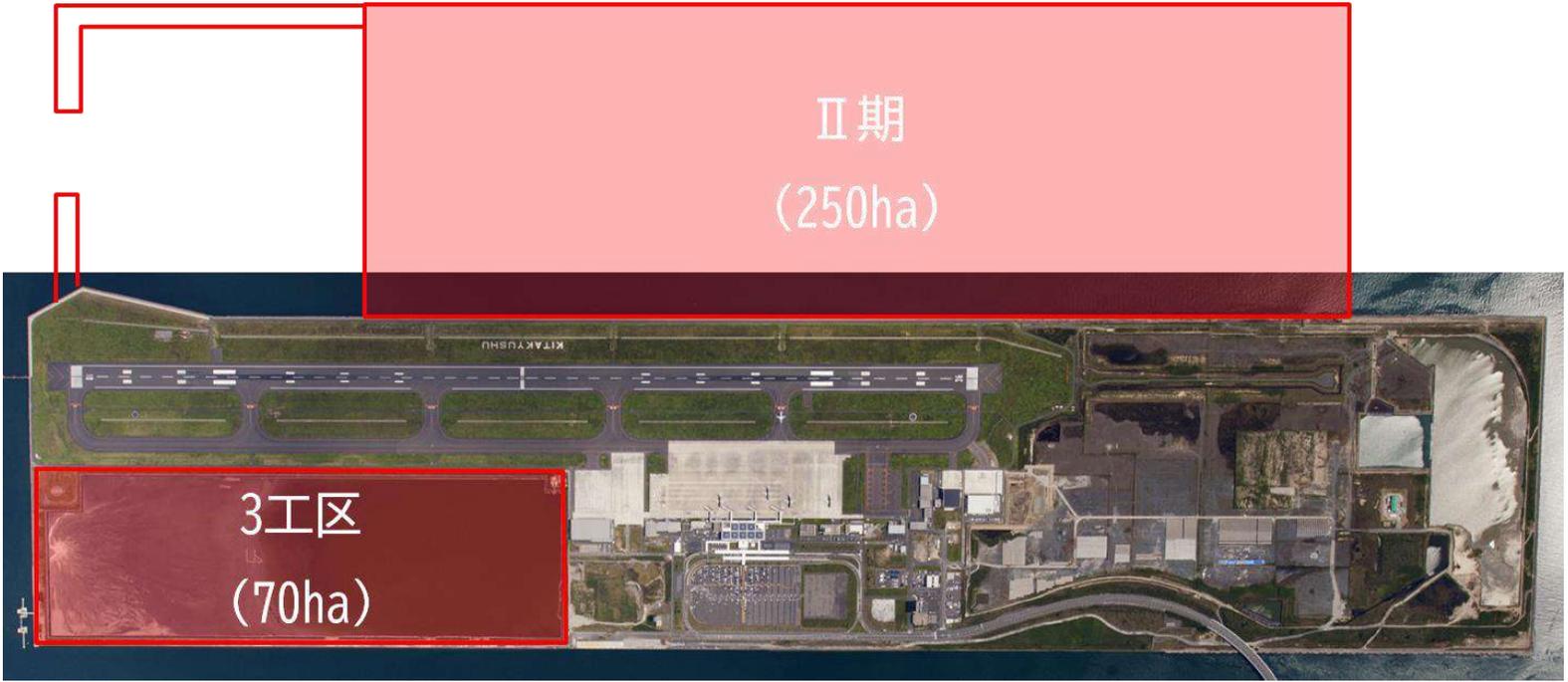


空港	滑走路延長	航続距離圏内の地域
北九州空港	2,500m	東アジア、東南アジア、中国東部、ロシア東部
福岡空港	2,800m	欧州、オーストラリア、北米西海岸
	3,000m	アフリカ、北米全域

今後の取り組み・展開【産業集積－新たな土地－】

■産業の集積・拡張用地の活用

- 関門航路の浚渫土の埋立処分場(3工区)で70haの広大な土地 (2020年代中頃に土地成り化)
- 空港ポテンシャルを活かし、産業集積や物流振興などに活用



集貨・路線誘致・機能強化・創貨の戦略的な取り組み

地域の社会経済活動を支える物流拠点空港を実現

まとめー地域に貢献する空港であるためにー

好循環を生み出す「スカイコネクT KKJ」の取組み



北九州空港が有効に利用されることで、
 貨物の流動が活発となり、空港及び周辺地域が相互に発展
 地域企業活動拡大、企業進出、産業創出、地域経済活性化・・・
 ⇒地域GDP↑ 雇用拡大↑ 個人所得↑

スカイコネクT KKJ（北九州空港物流拠点化推進協議会）では
 KKJの利便性向上にご賛同くださる**サポート会員**を募集中！

ご清聴ありがとうございました。

【お問い合わせ】

スカイコネクトKKJ（北九州空港物流拠点化推進協議会）

電話：093-582-2308

（北九州市港湾空港局空港企画課内 航空物流担当）

